令和４年度第１回城東区教育会議　議事要旨

日時	令和4年8月 10 日（水）19 時～20 時 30 分	場所	城東区役所1階 101・102 会議室
出席者	教育会議委員、区内小中学校幹事校長 城東区長、城東区副区長、子育て教育担当課長		

内　　容	
報告案件	[主な質問と区の見解]　〇：委員、●：区長、オブザーバ **【スクールサポートルーム（SSR）ほか不登校支援事業について】** 〇現在順次設置となっている4校は、今年度中に完了する予定か。 ⇒●今年度は現在進行中の2校のみで、残り4校はなるべく早く、できれば来年度中に設置完了する予定である。 〇不登校は学校でのトラブル、家庭環境、個人の特性などの原因が考えられるが、それに関する調査は行われているのか。 ⇒●調査はしていないが、学校長との面談、学校訪問等で、不登校にはさまざまなタイプが存在することは聴取している。それに対応するため、学校には登校できるけれども教室には入れない場合には、学校内の居場所である「SSR」を、登校が難しい場合には民間委託によりそのノウハウを発揮して実施していただく「JOTO ふらっと」を展開し、セーフティネットのようなものを作っている。様々な不登校のタイプ・進行度に合わせた不登校支援事業を拡充している。 〇下條委員の意見は非常に重要だ。不登校の類型化と、その対応を現行のもの、予定されているものを合わせて示されればより検討しやすいと考える。 **【ヤングケアラーへの取組について】** 〇ヤングケアラーの相談を受けた後の対応を知りたい。 ⇒●ヤングケアラーのケースについては、福祉サービスを提供する担当へ繋げることが主たる目的である。そのために、これまで教育的支援の行き届いていない課題のある子どもの情報をいただければ、保健福祉との担当間で連携して、さまざまな福祉サービスにつないでいけると考えている。 **【学校教職員等人材バンクの設置について】** 〇人材バンクを利用して内定した場合、公務員として採用するのか。兼業できるかを判断するためにその情報は必要だ。 ⇒●職種によって異なるが、ボランティアを除いては公務員である。 ※職員として採用している場合でも、兼業の可否は週勤務労働時間による。 〇学生も利用できるのか。 ⇒●登録できる職種もある。ただし、必ず採用されるわけではない。 〇学校ボランティアは無償か。 ⇒●報償の有無は業務による。募集はどちらも行う。

議　題	［主な質問と区の見解］ ○:委員、●:区長、オブザーバ **【城東区の教育理念（案）について】** ○内容は素晴らしいが、一番重要なのはそれをどう浸透させていくこと。教育は学校だけでなく地域ぐるみでやるものなので、保護者、地域にも浸透させることが大事。 保護者も学校任せになりがちなので、自分たちでも何かすべき。コロナで授業参観が減っていることもあり、学校の様子が分からないので授業参観等の学校現場を見られる機会を増やしてほしい。 ⇒●定期的に小中学校校長が参加する教育行政連絡会を開催しており、今回いただいたご意見を踏まえ、その場でディスカッションしていく。学校側の状況も聞きながら、できるところから今より前に進むような形で取り組んでいきたい。 ○この理念が各学校の方針とどう結びつくのか。各学校で方針を作っている。これができて去年までとどう変わるのか。この方針に基づいて学校がどう取組んでいくのかをもっと具体的に考えていくべき。 ⇒●理念があることによって、すでに学校現場でやっていることが、それと合った形で取り組みとして実践されているかを検証でき、連続性も担保される。本来は学校協議会でチェックされるべきものであるので、これからしっかり学校とも結びつきを深めながら進めていきたい。 ○保護者も、学校で先生方がどのような取り組みをしているかを知ることで成長し、子どもたちと向き合える。親も忙しいため、子どもとの時間や先生方の対応について考える時間がどんどん減ってきているので、保護者同士や先生との交流の行事など、保護者が学ぶ機会を作ってほしい。 **【「第２回　城東区いじめ・不登校サミット」実施案の検討について】** ○第１回のサミットにおいて、生徒たちがディスカッションした内容はどのように学校や保護者に下ろされているのか。学校に持ち帰ってクラス単位でも議論していくようにしてもらいたい。 ○グループディスカッションの際「明日から自分たちでできること」などをテーマにし、生徒たちが学校で身近に取組むころができれば。 ○楽しかったで終わるだけでなく、学校に戻って何か芽が出るような、次の展開に繋がる仕掛けがあれば良いと思う。 ⇒●参加した生徒のアンケートでは、他校の取組みを自分の学校でも取り入れたいと書かれていただが、具体的にそれが実践されているかは確認できていない。 ○実施結果を区広報誌「ふれあい城東」に掲載すれば、区民にとっていじめや不登校が身近なものとなる。 ○第１回の実施結果をPTAにも提供してほしい。

その他	［主な質問と区の見解］ ○:委員、●:区長、オブザーバ **【健康観察アプリについて】** ○健康観察アプリを不登校の子どもとの連絡に活用しているということだが、具体的にはどういうことか。 ⇒●担任が日中に家庭訪問できないという場合もあり、不登校の子どもと顔を合わせることが難しいため、保護者から生児童徒の様子をお知らせいただいたり、学校から今日こんなことをしました、といった連絡をするなどがあるとのことである。 ○導入している学校はほぼ全児童生徒が利用しているのか。 ⇒●登録を控えたいという保護者は1割程度いると聞いている。 ○うちの学校でも導入し、PTA会費から利用料を支払っているが、そもそもなぜPTA会費から支払うことになっているのか。また PTA 役員にも利用者IDが付与されており、ログインすると誰が休んでいるのかなどの情報が見ることができてしまうが、個人情報の取り扱いはどのようになっているのか。 ⇒●現在のところ利用料を公費で支払うことは認められていないが、市会でも議論されており、近い将来全校で導入することが検討されている。IDとパスワードがいくつか付与されるが、情報閲覧の範囲を定め、IDとパスワードごとに権限付与が設定できる。しかし、当校としてはPTA役員の方が全ての家庭の個人情報を見られるような設定はしていない。 ○児童生徒数が少ない学校だと一人あたりの利用料の負担も大きくなるので、城東区は区の予算を確保して全学校に導入するということはできないのか。 ⇒●他にも同じような機能をもったアプリがあり、区としてこのアプリの導入を推奨しているわけではなく、まずはこのような仕組みがあることを知ってもらい、各学校の事情により判断いただくもの。今後、大阪市として必要であるとなれば導入が進むと思うので、今はそれを見守りたい。
資料	【資料1】令和 4 年度　城東区不登校支援関連事業 【資料2】城東区ヤングケアラー相談窓口案内リーフレット 【資料3】大阪市ヤングケアラーPT 報告書　※当日配付 【資料4】学校教職員等人材バンク設置要綱（案） 【資料5】城東区教育理念（案） 【資料6】大阪市教育振興基本計画（概要） 【資料7】健康観察アプリについて 【資料8】マイナンバーカード取得促進リーフレット